

熱中症死亡災害発生状況（平成22年～平成26年）

NO. 発生日時	職 種 年齢 経験年数	事業の種類	災 害 の 概 要
平成22年 6月 16～17時	製造工 30歳代 7日	セメント・ 同製品製造業	事業場建屋内（屋根はあるが障壁はない場所）で被災者はコンクリート型枠の組立や掃除の作業をしていた。作業が一段落し、休憩所で5分程度の休憩ののち、作業場に戻らず門の外に向かって歩いていき、突然道路上で倒れたもの。病院に搬送されたが翌日死亡した。 熱中症と推定される。
平成22年 7月 14～15時	作業員・技能者 30歳代 3日	農業	サボテンを栽培するビニールハウス内で、被災者が倒れているのを同僚により発見されたが、搬送先の病院で死亡したもの。被災者は、当日午前より農薬の散布作業を行っていたが、農薬から身を守るため、防毒マスクやポリエステル製の作業着を着用していた。同日午後2時30分の気温は35.4度を記録していた。なお、被災者は入社3日目だった。
平成22年 7月 14～15時	作業員・技能者 60歳代 14ヶ月	畜産業	被災者は、養鶏場で採卵作業に従事し、昼休みに作業場から約1km離れた休憩所で食事をとったあと、自転車で戻る途中の道路上で倒れ、死亡した。 熱中症と推定される。
平成25年 7月 16～17時	配管工 40歳代 24年	木造家屋建築 工事業	木造家屋建築工事現場において、午前8時頃から給排水管の敷設作業を行っていたが、午後4時頃、被災者が熱中症と思われる症状により現場内に倒れているところを発見された。
平成25年 8月 16～17時	作業員・ 技能者 20歳代 0ヶ月	その他の建設 業	午前8時から、芝畑において手作業での除草作業を行っていたところ、午後4時50分頃に熱中症で倒れているところを発見され、9日後、搬送先の病院で死亡した。 当日の最高気温は36度、湿度は50～60%だった。
平成25年 8月 14～15時	運転者 30歳代 1ヶ月	その他の 小売業	被災者は、生コン車（4トン）を運転して工事現場に向かい、生コンを納品した後に納品により汚れた道路を清掃した。その後、熱中症と思われる症状で道路上に倒れた。
平成26年 7月 14～15時	土工 50歳代 33年	道路建設 工事業	道路工事現場において、草刈作業を行っていたところ、気分が悪くなり病院に搬送されたが熱中症により死亡した。